

法遍寺 から大切な 皆様へ

2024年6月1日

日蓮正宗 年間方針

折伏前進の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

講中一結・万難を排して

折伏実践

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で歡喜の活動

根本を欠かさず家族

そろって弛まず実践

② 講中一結して折伏実践

「異体同心」・「師弟相對」

の信心で

広宣流布に邁進

③ 支部総登山と寺院参詣

で人材育成

死身弘法の決意と歡喜

の生活・切磋琢磨

しながら家庭訪問

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(電話番号 : 0561-54-9226)

相談無料 <https://hohenji.net/>

2024年5月12日 御報恩御講, 支部総会



慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は、静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日頭上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人様の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ「御本仏の慈悲の偉大なるに應える信心」

何かの「誓い」が人生の方向を変える。仏教でいう「誓願」の意は、成仏のため誓いを立てて神仏に祈願する修行であり、また衆生の苦しみを救わんと固く誓うことである。大聖人は一切衆生を救う大願を立てられた(御書572)。それはいかなる法難がわが身にかかろうとも、法華經の行者たるを貫くことである。「法華經を捨てるならばこの日本国の位を譲ろう」と、また「念仏を唱えなければ父母の頸を刎ねるぞ」といわれても、断固その誘惑や迫害に屈しないお振舞いを示され、その心中を「三大誓願」として括られた。「我日本の柱とならむ(主徳)、我日本の眼目とならむ(師徳)、我日本の大船とならむ(親徳)」と。これは仏身にそなわる三徳の宣示である。大聖人の偉大なる慈悲に包摂された私たちは、我が成仏と広宣流布こそが人生の目的と誓願し、仏の慈悲にお応えしよう。

② 創価学会に籍を置くみなさまへ(創価学会破門の経緯を知らない方へ その46)

前号に続き「創価学会破門通告書」を掲載。

以上、創価学会は、法主並びに宗門の、たび重なる慈悲の教導に背反し、本宗の法義・信仰を著しく改変して、仏法破壊の大謗法団体と化したのであります。ここにおいて、本宗は、創価学会の過去における外護の功績が、いかに甚大であろうとも、謗法厳誠による宗門七百年の伝統法義護持と真の大法広布を目指す上から、もはや日蓮正宗の信徒団体として認めることができません。

よって、日蓮正宗は、宗教法人創価学会を破門に付し、以後、日蓮正宗とは無関係の団体であることを通告いたします。さらに、このような創価学会の指導を受け入れ、同調している全てのSGI組織、並びにこれに準ずる組織に対しても、これを破門に付し、以後、日蓮正宗とは無関係の団体であることを通告いたします。

平成三年十一月二十八日

日蓮正宗管長 阿部日頭

日蓮正宗総監 藤本日潤

創価学会名誉会長 SGI会長

池田大作殿

創価学会会長 SGI理事長

秋谷栄之助殿

創価学会代表役員 創価学会理事長

森田一哉殿